

2022年度 TMSナビ ストレスチェックの結果に関する調査②

TMSナビ導入団体及び企業全体の 総合リスクは92 全国平均の100よりも良好

(対象者241,837人中、有効回答217,233人)

1.導入企業全体および性別の健康リスク

- 男女差は職場支援のリスクにみられ、女性の方が良好

集団名	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の支援 リスク	総合 リスク
全体	241,837	217,233	98	94	92
男性	186,191	166,094	99	93	92
女性	55,646	51,139	99	89	88

2.年代別健康リスク

- 20代以下は職場の支援リスク、60歳以上は量・コントロールリスクが良好

年代	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の支援 リスク	総合 リスク
20歳未満	2,520	2,188	95	77	73
20代	44,532	40,152	100	85	85
30代	51,504	46,510	103	94	96
40代	63,321	57,196	101	97	97
50代	59,938	53,698	96	99	95
60歳以上	20,022	17,489	84	97	81

3.残業時間別健康リスク

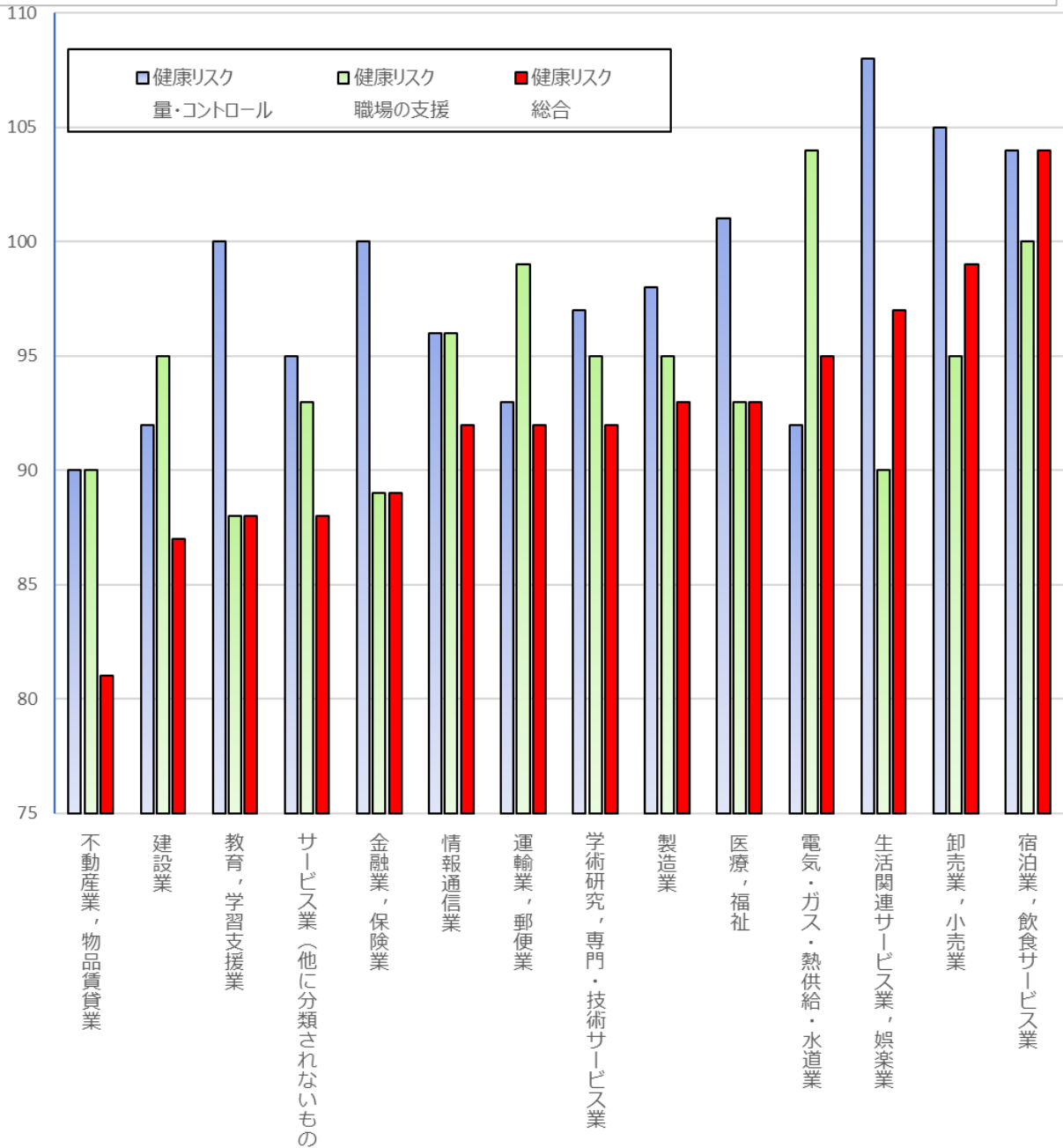
- 残業時間が増加しても、職場支援リスクは比較的良好

月平均残業時間	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の支援 リスク	総合 リスク
0～10時間	60,445	89	96	85
11～20時間	32,833	100	95	95
21～30時間	30,568	104	93	96
31～40時間	24,036	107	93	99
41～45時間	12,513	107	93	99
46～50時間	6,148	105	93	97
51時間以上	13,063	106	95	100
管理職・裁量労働制	6,936	104	90	93

4.業種別健康リスク

※業種分類は日本標準産業分類を使用

- ▶ 量・コントロールリスクが全国平均の100を超える業種は、教育、学習支援業、金融業・保険業、医療・福祉などであり、最もリスクが高いのは生活関連サービス業・娯楽業（108）であった。
- ▶ 職場の支援リスクが全国平均を超えるのは、宿泊業・サービス業、電気・ガス・熱供給・水道業であった。宿泊業・サービス業は、量・コントロールリスクも104と全国平均を超えており、総合リスクが最も高い業種となった。



量・コントロール	90	92	100	95	100	96	93	97	98	101	92	108	105	104
職場の支援	90	95	88	93	89	96	99	95	95	93	104	90	95	100
総合	81	87	88	88	89	92	92	92	93	93	95	97	99	104

(注)本調査はデータ利用の許可を頂いた団体及び企業のデータのみ分析対象としています